

平成 23 年第 2 回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 高齢者の見守り活動について

初めに、高齢者の見守り活動についてであります。高齢者の安否確認などを目的として、5月18日に生活協同組合コープさっぽろと協定を締結いたしました。

この内容につきましては、宅配サービスの担当者が高齢者宅へ訪問した際の異変などを市へ連絡していただくこととなっております。

今後も他の民間事業者とも連携を図り、見守り活動を広げてまいりたいと考えております。

2 大腸がん及び肝炎ウイルスの検診事業の拡大について

次に、大腸がん及び肝炎ウイルスの検診事業の拡大についてであります。今年度から国において大腸がん及び肝炎の早期発見、早期治療を目的として、40歳から5歳刻みのいわゆる節目検診が制度化されたところであります。

本市においても7月1日から本事業に新たに取り組むこととし、本年4月1日から既に節目検診を受けられた方につきましても、その費用を支給することとしております。

なお、本定例会において本事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

3 空き地・空き家バンクの創設について

次に、空き地・空き家バンクの創設についてであります。市内の未利用地の利用促進を積極的に進めるため、従来の住み替え支援事業を拡大し、6月1日から「空き地・空き家バンク」事業を始めたところであります。

この制度につきましては、売却・賃貸希望者のほか、購入希望者も対象としております。また、不動産業者との連携強化や未利用地調査を活用して、登録者の掘り起こしを行いながら、本市への定住促進を図ってまいりたいと考えております。

4 グリーンツーリズム施設等の開設について

次に、グリーンツーリズム施設等の開設についてであります。農産物加工品直売施設「ファーム サルーサ」が本市3カ所目のグリーンツーリズム施設として、4月28日、西の里にオープンしたところであります。

また、市内6カ所目の認定市民農園が、富ヶ岡に「駅前市民農園」として開設されております。これにより、市内における認定市民農園の区画数は1,100区画となりました。

両施設の開設は、地域の振興や活性化につながるものと期待しているところであります。

5 農産物の生育状況について

次に、農産物の生育状況についてであります。石狩農業改良普及センター発表による5月15日現在の状況は、低温や多雨の影響から、大根で3週間、水稻、馬鈴薯で2週間、レタスで1週間の遅れが出ておりましたが、6月1日現在の状況では、おおむね1週間程度の遅れまで回復してきているとのことであります。

なお、北海道からは、天候や圃場作物の状況を踏まえた適切な対応を図るため、営農技術対策が示されたところであります。

6 緊急雇用対策事業について

次に、緊急雇用対策事業についてであります。本年4月から13事業に取り組んでいるところであります。

また、新たに公園環境整備事業の拡大や広報資料整理など3事業（直接2事業・委託1事業）をこのたびの東日本大震災による被災者も対象として予定しているところであります。

これにより、今年度の緊急雇用対策事業につきましては、16事業で新規雇用53人、延べ8,494人日、事業費は1億2,896万5,000円となる予定であります。

なお、本定例会において、追加事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

7 西部プールのオープンについて

次に、西部プールのオープンについてであります。旧西部住民プールの老朽化に伴い、平成 22 年度に西部小学校横に新築した西部プールを本年 6 月 15 日からオープンする予定であります。

新たなプールは簡易温水化とするとともに、一般用 7 コースと幼児用・児童用プールを備えており、西部地区をはじめ、市民の皆様の健康づくりや体力づくりの場として利用していただけるものと考えております。

8 輪厚パーキングエリア複合プロジェクトについて

次に、輪厚パーキングエリア複合プロジェクトについてであります。平成 16 年 6 月に地域再生計画として国の認定を受け、民間企業で組織するプロジェクト推進チームが検討を進めてきたところであります。

しかし、6 月 1 日に同チームから事業推進の見通しが立たないため計画を断念する旨の申し出があり、本市といたしましても諸般の状況から、やむを得ないものと考えているところであります。

今後は、地域の皆様へこの内容を説明するとともに、当該地域の土地利用について検討を行ってまいります。

以上、申し上げ、行政報告といたします。